



第12回 「おたる案内人」マイスター 検定試験問題

2020年3月15日

小樽観光大学校

*合格発表は下記のホームページでご確認できます。
*URL:<http://www.otaru-kd.com>

各設問で選択問題は番号で、また記述問題は決められた字数で記入しなさい。
(制限時間90分)

問 1

現在の国内観光の契機は高度経済成長で余裕を持った国民に対して、当時の国鉄などが旅行を促すキャンペーンを展開したことにあるともいわれています。その日本の高度経済成長とは次のどれでしょうか。

1. 昭和25年～38年
2. 昭和30年～48年
3. 昭和35年～58年
4. 昭和45年～60年

問 2

小樽における近代ホテルの先駆けは越中屋ホテルといわれています。おもに外国人利用客をターゲットとしたホテルでした。この建物ができたのは次のどれでしょうか。

1. 大正6年
2. 昭和6年
3. 昭和16年
4. 昭和26年

問 3

小樽が現在のような観光都市になったのは、小樽運河保存運動が原点といわれています。市民による長い運動が続きましたが、それは次のどの期間でしょうか。

1. 昭和35年～昭和40年
2. 昭和40年～昭和48年
3. 昭和48年～昭和59年
4. 昭和59年～昭和63年

問 4

現在の小樽運河が完成した時、散策路にガス燈が設置されました。その数は次のどれでしょうか。

1. 58基
2. 61基
3. 63基
4. 65基

問 5

小樽運河保存運動の特徴で相応しくないのは次のどれでしょうか。

1. 文化型経済の覚醒
2. 地域個性の覚醒
3. 対立型運動の覚醒
4. 市民世論の覚醒

問6

まだ小樽区だった明治後期、人々は「小樽港は小樽の港ではあるが小樽だけの港ではない」という公共意識をもっていたといわれています。小樽の人々は自らを何と表現したでしょうか。次の中から選びなさい。

1. 小樽区民
2. 小樽公民
3. 小樽志民
4. 小樽港民

問7

小樽運河保存運動以来、小樽には今日までどのくらいのまちづくり団体が生まれたでしょうか。

1. 30～40団体
2. 50～60団体
3. 70～80団体
4. 90～100団体

問8

小樽観光の特徴の一つとして、歴史的建造物の再生活用があります。次の4つの建物のなかで再利用された年が一番古いのはどれでしょうか。

1. 協和浜ビル（通信電設浜ビル）
2. 松田ビル（三井物産）
3. 小樽市総合博物館（小樽倉庫）
4. 小樽夢二亭（塩田別邸）

問9

「小樽雪あかりの路」の第1回目が開催されたのは次のどれでしょうか。

1. 平成11年
2. 平成12年
3. 平成13年
4. 平成14年

問10

「小樽雪あかりの路」のコンセプトで違うのは次のどれでしょうか。

1. 雪、ロウソク、自然の物のみ使用
2. ボランティアの手づくりにこだわる
3. 規模や人数にこだわる
4. 小樽らしさをストイックに追及

問11

「小樽雪あかりの路」と近隣市町村の雪行灯（または雪あかり）イベントの灯りを比較したとき、小樽の大きな特徴は次のどれでしょうか。

1. オブジェを立体的に照らす工夫
2. ロウソク1本で5時間灯る
3. ロウソクの灯りでオブジェの輪郭をだす。
4. ロウソクでまちの歴史を照らす

問12

「小樽雪あかりの路」の考え方や精神の始まりは次のどれでしょうか。

1. サマーフェスティバル
2. 潮まつり
3. ポートフェスティバル
4. 商店街イベント

問13

第22回「小樽雪あかりの路」には、中国人ボランティアチームに替わり台湾ボランティアチームが参加しました。そのチーム名は次のどれでしょうか。

1. ヨーヨー
2. オーハオ
3. ニーハオ
4. ヨーハオ

問14

「小樽雪あかりの路」運河会場の小樽運河には期間中、浮き球キャンドルが灯されます。その数は次のどれでしょうか。

1. 100個
2. 150個
3. 200個
4. 300個

問15

第22回「小樽雪あかりの路」ポスターのキャッチコピー2作品の一つには「()ほどに あたたかい」とあります。()内に該当する言葉を選びなさい。

1. 眺める
2. 見つめる
3. 恋する
4. 雪降る

問16

小樽雪あかりの路は、作家の伊藤整の詩集「雪明りの路」から命名されました。2019年、市立小樽文学館では伊藤整の節目の年として特別展が開催されましたが、没後何年に当る年だったでしょうか。

1. 没後30年
2. 没後40年
3. 没後50年
4. 没後60年

問17

北運河地区にはモニュメントも設置されている箇所があります。かつて伊藤整文学賞受賞者に正賞として贈られたブロンズ像のモニュメントが設置されているのは次のどこでしょうか。

1. 北海製罐第3倉庫前
2. 北浜橋
3. 運河公園内
4. 日本郵船(株)小樽支店の裏

問18

旧大家倉庫は運河地区のランドマーク的存在となっていますが、その特徴の一つとして大棟の上に小さな屋根を載せた形状にあります。この屋根のことを何というでしょうか。

1. 入母屋屋根
2. 切妻屋根
3. 寄棟屋根
4. 越屋根

問19

かつて舩による荷役作業が行なわれていた頃の様子を、ガイドが北運河の舩の前で解説しています。解説の内容で間違っているのはどれでしょうか。

1. 当時、舩による荷役作業では米2俵分を担いで歩み板を渡る力持ちもいたそうです。
2. 小樽運河では、最盛期には運送舩、乗用舩など約600隻ほどの舩が港内を往来していました。
3. 戦前の小樽の港湾労働者の職種で、舩によって貨物の運搬に従事した「仲仕」という役割がありました。
4. 港湾労働者の雇用形態は「定夫」と呼ばれる定傭と「出面」「ゴモ」と呼ばれる日雇いがあったそうです。

問20

次の内容に該当する建物はどれでしょうか。

「この建物は木造2階建てで昭和11年に建てられました。特徴は石造りに見えますがタイル張りで重厚感を出しています。4本の大オーダーも特徴です。」

1. 前堀商店
2. 安田銀行小樽支店
3. 磯野商店倉庫
4. 第四十七銀行小樽支店

記述式問題

次の各設問に200字前後の文章で述べなさい。(簡条書きは不可)

1. まちづくり観光はこれまで新たな観光資源を発掘し、それを活かす活動をしてきました。あなたが思う小樽の新たな観光資源は何ですか。またその理由も書きなさい。

(まちづくり観光論より出題)

2. 「小樽雪あかりの路」を今後も運営していくために、若い世代のボランティアを呼び込む時期にきています。そのためには、どのような方法があると思いますか。具体的に書きなさい。

(観光資源論より出題)

総合記述問題

次の設問に800字以内の文章で述べなさい(簡条書きは不可)

小樽市は2018年に「北前船」、2019年には「炭鉄港」と2つの日本遺産に認定され、今後の観光振興の大きな要素として期待されています。それぞれの日本遺産の構成文化財は観光に来られた方にも案内しやすい場所に位置しているものが多数あります。

この2つの日本遺産のどちらかを選択し、次の2点を満たす内容で書きなさい。

- ① 選択した日本遺産をテーマとした観光ガイドコースの提案。
- ② そのコースを散策するなかで、構成文化財のみの解説にとどまらず、小樽のまちの魅力も伝えなさい。

<注>選択した日本遺産名と、解説する構成文化財、コースの発着場所を明記すること。

<注>観光ガイドは徒歩に限らず、交通機関使用可。